



# 華となれ!

宮城県仙台二華中学校  
学校だより 第33号  
【発行日】平成29年1月10日  
【連絡先】022-296-8104  
【文責】副校長 中澤宏一

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

明けましておめでとうございます。  
今年も宜しくお願い致します。

1月6日(金)、開講式が行われ、平成29年の仙台二華が始動しました。冬季休業明けの生徒の表情からは、穏やかな年末年始を過ごした様子が伝わってきました。また、新しい年を迎え、決意を新たに、引き締まった表情で開講式に臨む生徒が多かったように感じています。

平成28年は、生徒の活躍はもちろん、保護者や同窓会、地域の方々に支えられ、様々な面で大きな成果をあげることができました。とはいえ、まだまだ改善を要する面が多いのも事実です。どうぞ、平成29年も本校の教育活動に対しまして、力強いご支援を頂きたいと思っています。宜しくお願い致します。



( 放送による開講式で校歌を斉唱する様子と学校長式辞に聞き入る様子 )

○学校長式辞から、特に意識し考えて欲しい点を生徒諸君、ご家庭の方々と共有したいと思います。

- ・新年は、学校にとっては終わりの始まりです。今の学年をしっかりしめくくり、4月からの新たな生活に備えましょう。
- ・何を志し、何を追い求めるか。学校で何を学ぶかは、将来どのように生きていくかにつながる。
- ・グローバル社会の到来に対応した新たな価値観が求められる。新たな価値観を共有し、上手に共生していくことが必要。新しい価値観の創出は、話しが大きすぎて自分には関係ないという発想ではなく、自分には、それに関わる使命があり役割あるという気概を持って欲しい。
- ・本校は、大学進学のみを目指しているのではない。代々受け継がれてきた知識や知恵を継承し、自らの存在を高めることに力を入れて欲しい。世界を支える人材に成長することを期待している。
- ・厳しい冬を、自分の力にして立ち向かう資質を身に付けて欲しい。冬の厳しさは、未来を育む時とも言われている。まさに今がその時。

健康に留意し、充実した一年を過ごしてください。